

## アマチュア選手によるドーピングに対する曖昧さに関する研究

1230419 生塩健太

指導教員 中川善典

### 研究背景

ドーピングとはスポーツにおいて禁止されている物質や方法によって競技力を高め、意図的に自分だけが有利に立ち勝利を得ようとする行為であり、ルールに反する様々な競技能力を高める方法やそれらの行為を隠すことでありスポーツ界において禁止されている。そこで、学生によるドーピングに対する意識や知識を明らかにし、ドーピング防止教育について検討した。

### 研究目的

Q1「プレイヤーたちはドーピングをめぐるどのような曖昧さに直面しているのか？」Q2「彼らはその中で何を考えどのように行動しているのか？」を明らかにすることを目的としている。」

### 研究方法

部活動に入っている大学生を対象にインタビュー調査を2名行った。カフェインは2004年以降に禁止リストにおいて除外されているが極めて多くのプレイヤーが日常的に飲んでいるカフェイン飲料を用いて、カフェインに対しての罪悪感があるのか、ないのか比較表を用いて両者を比較した。

### 分析結果

Aさんでは、Q1に対しては、上位の大会ではドーピング検査は行われるが下位の大会では検査がなく禁止薬物についての提示がないという曖昧さ。カフェインは禁止されていないのにも関わらず社会通念上良くない存在になっている曖昧さ。という結果が生じた。Bさんでは、そもそもエナジードリンクを飲まないの曖昧さを感じていない。という結果が生じた。Q2ではAさんは、罪悪感を抱えながら飲み、試合に望んでいる。Bさんでは、対戦相手に対して飲みたい物はぜひ飲んでほしいと思い、試合に望んでいる。という結果が出た。

### 考察・結論

ドーピングをめぐる曖昧さが生じる事例は存在した。新しい発見として、対戦相手に対して飲みたいものはぜひ飲んでほしいと非常にポジティブな考えが発見できた。今回の研究を通じて、ドーピングに対して曖昧な考えを持っているアマチュア選手が確かにいることがわかった。

高知工科大学 経済・マネジメント学群

2023 年度 卒業論文

アマチュア選手によるドーピングに対  
する曖昧さに関する研究

指導教員氏名 中川善典

学籍番号 1230419

氏名 生塩健太